

# 鍛錬坂



奈留高校  
学校だより  
第 105 号

## 三寒四温

校長 下釜 祐保



スクール・ツリーである正門前の桜の蕾が膨らみ始め、春の準備を急いでいる。来週の3月6日は「啓蟄」、虫たちも冬籠りから這い出る準備をしているだろう。春が間近に迫ったのだ。先日、去年はなかった「春一番」が吹いた。月末になって「寒の戻り」もあったが、春の足音が聞こえ、何か心はずむものを感じる。

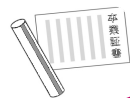
ちょうど今ごろの季節の移ろいを「三寒四温」というのであろうか。手元の辞書には「冬期に寒い日が3日くらい続くと、そのあと比較的温暖な日が4日くらい続き、寒暖が繰り返される現象」と載っている。

明日は、卒業式。奈留地区の小中高一貫教育を終了した若者たちが、この小高い丘の学び舎から発っていく。彼らのこれからの人生もまた「三寒四温」に違いない。「温ばかりなら良いけれど、寒の日もあるぞ」。そう伝えて、送りたい。古い歌だが、昭和の時代に「365歩のマーチ」という歌謡曲がヒットした。「1日1歩。3日で3歩。3歩進んで2歩下がる」というフレーズが印象的である。まさしくこれが人生なのだろう。

寒と温、下がると進む、失敗と成功、悲しみと喜び...。「三寒四温」、「2歩下がって3歩進む」。「七転八起」という言葉もある。前者より後者が必ず一つ多いと思えば、頑張る勇気も得よう。見知らぬ土地へ船出する者も多いが、卒業生が健勝にて、幸多からん人生を歩まれんことを祈念する。

## 3月の行事予定

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1日(日) 卒業証書授与式        | 16日(月) 容儀検査    |
| 2日(月) 代休             | 17日(火) 小中学校卒業式 |
| 6日(金) 窓ふきデー          | 18日(水) 合格者発表   |
| 7日(土) 土学             | 21日(土) 春分の日    |
| 10日(火) 入学者選抜検査       | 23日(月) 競技大会    |
| 11日(水) 国公立大学後期日程入試   | 合格者説明会         |
| 13日(金) 合格者体験発表会      | 24日(火) 終業式・離任式 |
| 14日(土) 第2学年五島地区学習交流会 | 1・2年早朝補習(後期)終了 |
| ~ 15日(日) まで          | 1・2年通知表発送      |



## 1学年より

元気な笑い声。見慣れた風景。時折、できたて料理のいい香りが調理室から漂ってくる。それが1年生の皆さんが通い慣れた教室。しかし、最近ひとつの変化に気づきました。それは、2階が静かであること。行事の際に抜群のリーダーシップで引っ張ってくれた3年生。部活動では、3年生に随分と迷惑をかけ、「自分にもう少し、力があれば・・・」と悔し涙を流し、申し訳ない気持ちでいっぱいになったこともありましたね。相談にも乗ってくれた3年生。時には厳しかったけど、やっぱり優しくかった3年生。そんな自慢の先輩方が卒業を迎えます。1年生の皆さんができること。沢山あると思います。新たなる門出を祝い、最高の卒業式にしましょう。精一杯心を込めた校歌、愛唱歌を歌いましょう。

通い慣れた教室が、思い出の教室となるときが近づいてきています。君たちも先輩となるときが近づいてきています。さあ、身も心も一歩、大人に近づこう。

## 2学年より

さて、残すところ今年度もあと1ヶ月。最近2年生の皆さんがリーダーとしてそれぞれの活動の場でメンバーを引っ張っている姿に、「もう最高学年になるのだなあ」と感じています。しかしながら、人間の成長は大人になっても続きますから、それぞれの課題を前向きに受け止めて日々成長を続けていきましょう。これから最高学年になる皆さんにお願いしたいのは、相手の考えを尊重できる人になってほしいということです。8人それぞれがきっと何らかの場面でリーダーシップを取る場面が出てくるはず。そのとき、自分の思い通りにならずに戸惑うこともあるかも知れません。しかし、人にはそれぞれの考えや価値観があり、おそらくその時で最善を尽くしているものだと思います。ですから、一人ひとりの考えを認めた上で協力して物事に取り組んでいってください。それがチームワークです。君たちならばそんなリーダーにきつとってくれると信じていますよ!! Step by Step!

## 3学年より

「光陰矢のごとし」3年生諸君は高校生活も明日の卒業式を残すのみとなりました。今年の4月から「僕たちの最終ステージ」をスローガンに、人格、感動、進路の完成を目指して日々の生活に一生懸命取り組んでくれました。プレッシャーを力に変え国体出場を果たした野球部はもちろん、高総体で最高のプレーを見せてくれたバドミントン部、定期演奏会で感動あふれるメロディーを奏でてくれた吹奏楽部、さらには生徒会活動や学校行事。どれも3年生のリーダーシップがあって最高の結果を残し、後輩に奈留高校の伝統を伝えることができたのではないのでしょうか。学習においても、それぞれの進路実現に向けて、お互い苦しいときに支えあうことで絆を深め、結果を出してくれました。

明日、晴れて卒業証書授与式を迎えます。3年間の思い出が詰まった高校生活とも最後の別れです。自ら決めた道に向かって進みだす旅立ちの日です。自分たちが歩んできた3年間の軌跡に胸を張って卒業証書を受け取ってほしいと思います。

## 防犯教室

2月18日(水)に、防犯教室を行いました。講師は少林寺拳法をご指導していらっしゃる宮脇隆治さんです。

毎年、この防犯教室に講師として来島いただき、実技を交えた講習を行ってもらっています。生徒たちも、真剣に取り組みました。宮脇さんは、「挨拶を行う。危険な場所に近づかない、など基本的なことがとても大切です。」と教えてくださいました。また、「万が一危険な場面に遭遇した場合、隙を作って逃げることや大きな声で助けを呼ぶことが大切です。」とご指導くださいました。説明が終わり、実技演習となりました。生徒たちは実践しながらとはいきませんが、お互いに護身術を学び、防犯意識を高めました。



3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。おめでとうございます。

さて、卒業後に卒業証明書や成績証明書などが必要になった場合、通常は事務室窓口で発行手続きをしていただきますが、島外から郵送を希望される場合は次のようお願いします。まず学校に電話して内容を伝える。住所・氏名(旧姓)・電話番号・生年月日・卒業年月日・希望する証明書名と部数を紙に書く。郵便局で350円×証明書の部数の金額の「郵便小為替」を作ってもらい、封筒に届け先の住所氏名を書き、返信用の切手(速達等の場合必要な料金)を貼る。運転免許証や保険証などの本人確認ができるもののコピーをとる。学校へ～を同封して郵送する。

以上、よろしくお願ひします。

## 進路より

突然ですが、3年生の諸君、社会に飛び立つ準備(覚悟)はできましたか? 4月からの生活をどのように描いてますか? 君たちを待っているのは夢ではなく、現実が待っています。今まで経験したことのない、壁にぶつかることもあるかもしれませんが、今後は全て自分自身で道を切り開いて行かなくてはならないのです。この奈留高校で学んだことを生かして、是非とも明るい人生を歩んでいってほしいと思っています。さて、1・2年生の諸君、しっかりと志望をもとに、自分の進路実現に向けて日々精進しなければなりません。進級し、求められるものが多くなってきます。いつまでも甘い考えでは将来の目標は達成できません。

次のステップまで残り1ヶ月。まだまだやれることは沢山ある。まだまだ可能性は残されている。頑張り! 奈留高生! ここが勝負の時だ!! 最後の最後まで自分を奮い立たせよう!!

## 保育園実習

2年生3名が、「子ども文化」の授業の一環として、さくら保育園で保育園実習を行いました。まず初めに、手遊び歌や「虫歯キン バイバイ」というタイトルの歯磨きの大切さを伝えるペープサートを披露し、その後、授業で制作した布絵本などの手作りおもちゃで園児達とふれあいました。園児達に学んだことを伝えることで、生徒自身も歯磨きの大切さを再確認することができました。日頃小さな子どもと接することの少ない生徒達にとって、大変有意義な体験となりました。ご協力くださいました保育園の皆様、ありがとうございました。



## スローガン・シンボルマーク発表会および記念品贈呈式

2月4日(水)本校50回目の開校記念日に体育館にて「スローガン・シンボルマーク発表および記念品贈呈式」を行いました。同窓会からの金屏風贈呈、50周年記念スローガン・シンボルマークの発表、50年の歴史を振り返るスライドショー上映など、50回目の開校記念日にふさわしい1日になりました。最後にはサプライズで同窓会からケーキをいただき、生徒たちも大変喜んでいました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

なお、創立50周年記念式典は今年10月24日(土)に開催予定となっております。皆様方の多数のご来場お待ちしております。



50年の時を越えて 今、新たな一歩

先日、某アカペラグループのコンサートに行ってきました。デビューから20周年記念の全国ツアー。懐かしい曲目の連続でしたが、「愛してるって最近…」から始まる大ヒット曲を聞いたとき、私のまぶたに蘇ったのは…「肉」。何で肉!? 我ながら驚きましたが、古い記憶を呼び起こせば、当時私は大学1年生。大学近くの焼肉屋でアルバイトをしていました。そこで延々と流れていたのが前述の曲だったのです。光陰矢の如し! あれから15年も経ったなんて!! 時間の流れが怖い!!! 驚愕とともに、改めてグループのメンバーを見ると、…確かに15年が経過していました。でも、彼らは昔よりずっと肩の力を抜いて音楽を楽しんでいるように見えました。仲間への信頼、仕事への誇り、何より20年の歳月を経たことへの自信が歌声に満ちていました。20年も続けることは決して楽なことではなかったはず。思うようにいかなかったこと、やめてしまいたいと思ったことも沢山あったはず。だけど、続けてきたから今がある。きっと昔は見えなかった景色を彼らは今見ているんだろう。教員生活10年目の私。あと10年続けたら、どんな景色が見えるんだろう…。そんなことを思いながら、歌声を楽しむ夜となりました。

奈留高職員  
ペン声人語

